

# お米が食卓にとどくまで

## 苗づくりから収穫まで

お米は、イネという植物の実。約半年かけて、イネの穂にたくさんのもみがつき、それがお米になります。※地域によって時期が多少異なることもあります。

こんなにたくさんの工程があるなんて……。  
お米をつくるって大変なんだ。



### はる 春

#### なえ 苗づくり



あたたかいビニールハウスなどで、苗箱に種もみをまいて、苗づくりをします。

#### た 田おこし



トラクターを使って、土をたがやします。土に酸素が入り、田んぼが元気になります。

#### しろ 代かき



水を入れて、田んぼの表面をたいらし、田植えを行いやすいようにします。

#### たう 田植え



昔は、苗を手で1本1本植えていました。今は、田植え機で植えています。

### なつ 夏

#### た 田んぼの手入れ



イネの成長を妨げる病害虫や雑草を駆除し、成長を助けます。

#### はな 花がさく



7月の末から8月ごろには、緑色の穂のさきに、小さい花がさきます。

### あき 秋

#### しゅうかく 収穫



コンバインは、イネを刈りとり、イネの穂からもみをとり出す「脱穀」を行う機械。

#### はざかけ



くいや棚に刈りとったイネをたばにしてかけ、風や太陽の熱で乾燥させます。